

佐久エリアの 夢ひ ろがる 未来計画

佐久シンポジウム開催

2025年6月26日 (木) 13時~

佐久平交流センター 参加無料

佐久エリアは、持続可能な社会を実現するのに最も有利な環境です。
高齢者の見守りや災害等に強い、安心安全な暮らしを支えるインフラの構築。
地域経済を活性化する新しい森林資源の活用など
佐久市を中心に夢広がる社会づくりへのビジョンを提案します。

第1部 夢がひろがる佐久デジタルシティ未来計画

第2部 ゆたかな森林資源から生まれる未来計画

お問い合わせ : t.Suzuki@miraiok.com

主催 : みらいおこし合同会社 佐久地域木質バイオマスエネルギー研究会

後援 : 信濃毎日新聞社 佐久市民新聞 佐久ケーブルテレビ (社) ロボットビジネス推進機構 協賛 : デル・テクノロジーズ株式会社

企画主旨

長野県は、全国に比べても高齢化や過疎化が進む小さな自治体が多い県で、地域の活性化や社会構造の変革が求められています。とくに林業や観光産業等は1つの自治体で完結するものではなく、また介護＆医療問題や災害対策なども、ある程度の規模のエリアで課題を共有して解決することが重要です。

人口減少や過疎問題を抱える地域こそ、これまでの実績や経験を超えて、行政の大胆な効率化や新規産業導入による経済主導の活性化など、地域社会全体を明るくする新しい取り組みが必要になります。

その第一歩が、佐久エリア全体で取り組む『ふるさと未来ビジョン』を。みんなで考えることです。1～2年先ではなく、10年後、20年後、50年後、100年後も、安心して暮らせるゆたかな地域をめざして、最新の本格的なデジタルシティ化に取り組むことが、30年以上も停滞している日本全体の経済活動の再生基盤づくりや、東京集中でなく自立できる地方分散型社会の実現につながり、予算をかけずに高教育＆高福祉社会への早道です。

今回のシンポジウムでは、『佐久エリアの未来計画』をテーマに。デジタルシティ化によって、どんな未来が見えるのか、何が必要か、各自治体だけでなくエリアで課題解決することの意識共有など。官民一体となって「地域おこし」に取り組む、キッカケとなるシンポジウムになればと考えています。

<タイトル・内容>

『佐久エリアの夢ひろがる未来計画』

第1部 夢がひろがる佐久デジタルシティ未来計画

第2部 ゆたかな森林資源から生まれる未来計画

ご出席：柳田佐久市長様

天羽元林野庁長官様

ご挨拶；小泉小諸市長様メッセージ、

開催日程 & 会場

開催日：2025年6月26日（木曜日）参加無料

時 間：12時30分開場

13時開演～18時終了予定

会 場：佐久市佐久平交流センター

住 所：長野県佐久市佐久平駅南4-1

參加者：200人規模

・佐久エリア行政関係者、事業者、一般市民含む



佐久市 佐久平交流センター 駐車場のご案内



シンポジウムのタイムスケジュール（仮）

開 場	12時20分	
開 会	13時00分	開会の挨拶
ご挨拶	13時05分	小泉小諸市長様メッセージ
第1部	13時15分	地域を活性化するAIソリューション
	13時30分	見守りロボットの有効活用」
	13時45分	災害ロボット等の取り組み
	14時00分	臼田教授（AI防災リモート参加） パネルディスカッション 能登半島地震から学ぶ佐久の未来防災
	14時45分	第1部終了
休憩＆入れ替え		
第2部	15時00分	柳田佐久市長様ご挨拶
	15時10分	天羽元林野庁長官様ご挨拶
	15時20分	香山由人様 (林業と木材利用振興について)
	15時40分	竹林征雄様 (小型バイオマス発電等による地域構築)
	16時00分	パネルディスカッション 香山由人様 竹林征雄様 依田喜長様 (地元の森活用を推進する「カラモリ会」会長)
	16時40分	天羽元林野庁長官の講評
	16時50分	第2部終了

第部 シンポジウム内容

1

夢がひろがる佐久デジタルシティ未来計画

第1部では、地域データセンター開発による佐久エリアの未来像と取り組みについてパネラーが具体的に講演します。小諸市と連携しているデル・テクノロジーズ社が推進するAIコンシェルジュをはじめ、安全安心な暮らしを実現するための見守りロボットや災害ロボットの開発メーカーのプレゼンテーションなど。データセンターによってデジタルシティが実現し、大きく変わる地域のゆたかな暮らしや観光ほか地場産業の活性化など、ワクワクする未来を啓蒙します。

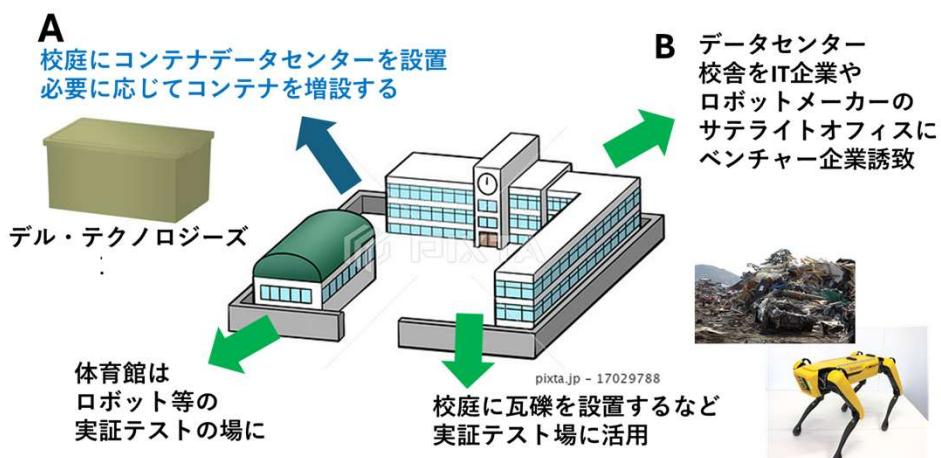
<予定参加企業>

- 1 デル・テクノロジーズ：世界のデジタルシティ動向と地域を活性化するAIソリューション
- 2 SONY・IRT：見守りロボットの有効性について
- 3 NEC・ロボットコネクト：災害ロボット等の取り組み
- 4 パネルディスカッション
能登半島地震から学ぶ佐久の未来防災について
・臼田裕一郎：防災科学技術研究所、筑波大学教授司会
・2, 3」出席パネラーの方

廃校を利用した地域データセンター開発啓蒙活動の第1弾として
さまざまなデータが変える住民の安全安心な暮らしを紹介します。

データセンターを設置する廃校の活用について

単なるデータセンター開発でなく、佐久の自治体Dデジタルシティ化に役立ち、行政サービスの充実、ヘルスケアや災害BCPなど住民の安全安心を実現し、地域経済の活性化にも貢献できることをめざす！



災害探索ロボット

第2部 シンポジウム内容

ゆたかな森林資源から生まれる未来計画

佐久エリア全体は、持続可能な社会を実現するのに、最も有利な環境です。第2部では、地域全体の7割を占める森林資源を生かすことで長期的な地場産業となる林業をはじめとする木材利用、なかでも非住宅木造化による新たなまちおこし、里山の多面的な利用、地域エネルギーのインフラとしての小型バイオマス発電を活用することで、病院や学校、公共施設等での安定利用や、発電時に発生するお湯の地域での利用など、時代の流れを見据えた、地域全体の経済活動の活性化と安心安全に暮らせる新しいまちづくりの構築を提案します。

<予定パネラーの方>

- 1 天羽元林野庁長官様のご挨拶並びに結びの提言
 - 2 香山由人様（株式会社山川草木 代表取締役）
 - 3 竹林征雄様（日本サステイナブルコミュニティ協会顧問）
 3. パネルディスカッション
- パネラー：香山由人様
竹林征雄様
依田喜長様（佐久地元で森活用を推進するカラモリ会会长）

香山由人様



長野県ふるさとの森林づくり条例検討委員（2004年）

県森林づくり指針専門会議委員（2010年）などを通じて県林政に関与。総合森林コンサルタントと地域資源流通を目指している。

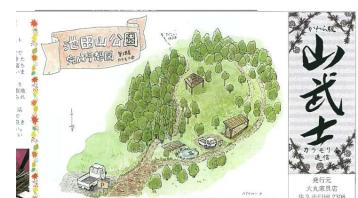
竹林征雄（（一社）日本サステイナブルコミュニティ協会顧問）



上野村はじめ病院等でのバイオマス発電の実績からまちおこしまで。



依田喜長様 家具店を経営しながら、荒れた山の再生森化に取り組むカラモリ会の会長として、移住者を巻き込んでさまざまな活動を実践中・



荒れた山の再生森と生きる生活へ

